

大中校区小中一貫教育たより⑧

1月20日（火）に行われた「児童生徒交流会」の様子についてお伝えいたします。「中1ギャップの解消を図り中1ジャンプにつなげる」という目的の活動であり、前号で紹介した2回目につき3回目の「小小、小中」の交流機会となります。

活動内容を「大中校区教務部会」で事前に検討し、3回目となる今回は、特に「児童生徒の主体性」をテーマとしました。中学校の授業と部活動の様子を参観し理解を深めるという目的でしたが、小学校ごとに小グループを編成し、事前に中学校からの資料（当日の時間割表等）をもとに児童（6年生）たちが参観計画を立て、中学校内を自由に参観するという形をとりました。

部活動見学では、迎える中学生（1・2年生）たちも限られた時間の中でどのようにアピールするかを自分たちでよく考え、楽しそうに準備を進めていました。

1 交流活動の様子と6年生の感想

グループの計画ごとに、授業と部活動の見学を行いました。仲間たちとはぐれてしまったり、迷ってしまったり・・・いろいろなハプニングがあったようですが、仲間どうし声を掛け合って充実した体験をすることができたようです。

（1）授業参観



< 感想 >

- 面白い先生がいたり、中学生の人たちが集中して授業を受けていてすごいと思いました。
- 授業内容が小学校と似ていたけど、文章の量が多くて難しく感じた。
- 小学校の雰囲気と全く違い、喋らないときと喋るときの切り替えがすごくできていた。
- 中学生になったらしっかり勉強できるか心配だったけれど、楽しそうな授業風景で中学生になっても安心して学校に行けると思いました。少し怖い先生もいたけれど楽しそうな学校でした。

（2）部活動見学



< 感想 >

- どの部活もじっくりと見ることができてとても楽しかった。また、体験できた部活もあって、よりその部活を知ることができた。
- みんな小学校とは違って、すぐ行動し、すぐ練習していてすごいと思いました。また、活動中にでも気を使ったりしていてかっこいいと思いました。
- とても上手で、中学生が優しくどのようにしたらいいのか教えてくれて、体験などもできて楽しく活動できた。
- 部活の活動や先輩、先生、雰囲気などが分かり部活動を決める参考になりました。